

No. 276

全 仏

3 / 57



校内暴力事件

今年も卒業期を迎えて、校内暴力事件が新聞各紙上に報道され、生徒が教師に重傷を負わせるといったことが、全国各地で発生している。これに対して色々の人々が意見を述べている。教師自身の人間性の喪失、体力の弱体化が理由であるとされるもの、一般大人社会のモラルの低下、指導者層の背徳や、教育界の具体的取り組みのなさ、家庭生活の嫉の欠如等をあげ嘆き、苦慮している。意見の多数は、その因を他にあると指摘していることよって、この事態を必要以上にこじらせていると思われる。現状は、私立校より公立校に圧倒的に多い。宗教関係教育機関の中に、これらの事件を見ない事を、教育にたずさわる教師や関係者はどの様に見ているのだろうか。

大会 陽

(善通寺)

|| 解説・12面にあります ||

全日本仏教会

全仏理事会・評議員会開く

新会長に金子日蓮宗管長

全日本仏教会では、任期満了に伴う役員改選などのため、さる二月九日午後一時から、東京グランドホテルにおいて、定例の評議員会・理事会を開催し、会長の推戴、事業計画、予算案などの議案を慎重に審議した。会長には日蓮宗管長の金子日威猥下が推戴され、理事会・評議員会の両会共通議案・報告事項については、合同で進行した。



◇…議案を審議する評議員

評議員会は議長に鈴木靈孝師、議事録署名委員に、高山宥進、高藤法雄の両師を選出して上程された議案の審議に入った。

議案第一号「任期満了に伴う理事及び監事選出の件」

前例にない選考委員を選出し、理事などを選出する提案が出され、選考委員六人を選出、選考委員会は別室にて協議を重ね、理事四十七人、監事三人を選出、評議員会に報告、評議員会は、報告を受け、審議の上、別掲の通り、理事、監事を選出した。

議案第二号「任期満了に伴う会長及び副会長推戴の件」

別掲会長、副会長を満場一致で推戴することを議決。

議案第三号「昭和五十七年度事業計画案について意見を求める件」

原案賛成の意見が表明された。

議案第四号「昭和五十七年度歳入歳出予算案について意見を求める件」

原案賛成の意見が表明された。

議案第五号「ルンビニー復興のための勸募目標額並びに勸募開始について意見を求める件」

原案賛成の意見が表明された。

新理事長には本多師

理事会は、鱒淵正浩理事長を議長に、また議事録署名委員には、塩入亮達、岩崎宗秀の両師を選んで審議に入った。

議案第一号「任期満了に伴う理事長及び常務理事選出の件」

大谷派の本多賢純師を理事長に選出、また別掲通りに常務理事を選んで、本多議長のもと、以下の議案の審議に入る。

議案第二号「事務総局人事の承認を求めめる件」

事務局案の説明を受け別掲通り選出。

議案第三号「任期満了に伴う会長及び副会長推戴の件」

別掲会長、副会長を満場一致で推戴することを議決。

議案第四号「昭和五十七年度事業計画案について意見を求める件」

案の承認を求めめる件」

担当局長、部長から事務局案の説明を受け、原案通り議決する。

議案第五号「昭和五十七年度歳入歳出予算案の承認を求めめる件」

担当局長、部長より事務局案の説明を受け、原案通り議決する。

議案第六号「同和委員会規定案の承認を求めめる件」

担当局長、部長より事務局案の説明を受け、原案通り議決する。

議案第七号「ルンビニー復興について、勸募目標額並びに勸募開始の承認を求めめる件」

担当局長、部長より事務局案の説明を受け、原案通り議決する。

なお、評議員会・理事会に共通する報告事項として、事務総局から①「同和委員会の活動報告」、②「機構改革特別委員会の活動報告」、③「税務委員会の活動報告」、④「第二十九回全日本仏教徒会議北海道大会について」、⑤「真宗出雲路派、真宗誠照寺派、真宗三門徒派脱退届受理について」、の五点について報告があり、会議は終了した。

57年度事業計画ならびに予算案を承認

昭和五十七年の事業計画ならびに歳入歳出予算は、評議員会・理事会において事務局案が承認された。

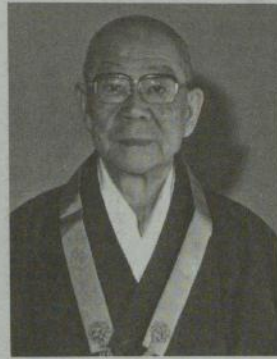
事業計画 別掲の通りほぼ前年を踏襲

しているが、特に同和の推進、時局対策に積極的な取り組みを行なう。また今年から、いよいよルンビニ―復興のための具体的活動を開始する。

全仏大会、仏教文化会議の開催、県仏の組織強化に力が注がれる他、国際交流をすすめる、WFBとの連絡提携を進めていく。

和の中に団結して

全日本仏教会会長 金子日威



今回、秦慧玉全仏会長の跡を承けて、会長に御推戴を蒙ったことは考えてもいなかった事でいささか戸惑って居ります。

然し新しい機構の下に、二年間の内外に渉る重責を完了せねばならず、そして又、次に選ばれる会長大徳に対してもその規道を円滑にして置かねばならぬかと考えます。

幸いに、内には練達と俊秀なる事務局のスタッフを擁し、数多い教界ベテ

算。歳出をみると、事務所移転に伴う借館借室費・光熱費、公共料金値上りによる通信費・旅費、また、重要案件である同和推進費などが増額となっている。

歳入歳出予算 前年度より約六百四十五万円増の七千三百二十八万五千円の子

ランの各方面の副会長に御支持協力をお願いする。無事任務を全うする決意であります。

混沌として激動する現代の人類世界に対して、とかく教界の活動を批判され、かつ切望するところの多い今日、全日仏は如何なる運動をするか、これが一番重要であります。私はまず太子様の、和を以って貴しとする御精神を根幹として、教団宗派の違いは別として、釈尊の教えに帰一し、胸襟を開いて行くことが第一と信じて居ります。

そしてその和の中には、仏教徒は団結して漸ては世界は一つとなつて、戦争もなく人権が平等に尊重され、貧富の国の差がなくなるよう、たとえ道遠くとも助んでゆかねばならぬと存じます。一言所信をのべて今回の御協助をお願いいたします。

事業計画各局の内容

〈総務局〉

基本目標 本会寄付行為第五条により各種の事業遂行に必要な措置を講ずる。

実施項目①諸官庁および関係諸団体との連絡提携

②時局対策

③過年度採択事項の実施

〈組織局〉

基本目標 本会寄付行為第五条の事業目的たる仏教運動の実践および育成を主とし、時代に即応した全一仏教運動を強く推進するとともに構成団体の一層の強化と団結を期するため下記の事業を実施する。

実施項目①加盟団体との連絡提携の強化
②第二十九回全日本仏教徒会議（各種代表者会議）の開催
③未加盟団体の加盟促進
④ブロック別各県代表者会議の開催
⑤同和の推進をはかる
⑥過年度採択事項の実施（担当事項）

〈国際文化局〉

基本目標 本会の寄付行為第五条の事業目的たる世界各国のWFBセンターおよび仏教諸団体との連絡、文化交流を中核として、仏教による国際親善と世界平和の実現を期する。また、仏

教運動の総合的企画促進、各種仏教運動の実践育成ならびに広報活動を活発に行うことによつて全一仏教運動の促進をはかる。

—国際部—

実施項目①WFB関係

(イ)本部で決議された事項の実施、特にルンビニ―復興計画への協力
(ロ)WFB執行委員会・ユネスコ会議等への出席および代表派遣

(ハ)その他必要な事項
②国際仏教交流関係
(イ)臨時に行われる国際会議または巡拝団等への代表巡遣
(ロ)訪日仏教徒の歓迎接待
(ハ)在日各国公館との連絡接待

(ニ)各国の天災、戦災等に対する救援活動
(ホ)その他必要な事項
③過年度採択事項の実施（担当事項）

—文化部—

実施項目①機関紙「全仏」の発行と普及

②日本仏教文化会議の企画および開催
③各種教化資料の作成と普及
④広報宣伝に関する事項
⑤過年度採択事項の実施（担当事項）

筒井 寛秀 (華嚴宗)
安井 玄純 (真言宗泉涌寺派)
(真宗誠照寺派)
(法相宗)

田中 真瑞 (真宗三門徒派)
(信貴山真言宗)
(律宗)

梶田 秀山 (聖徳宗)

小池 弘三 (真言宗須磨寺派)

国定 淨運 (真言三宝宗)

平田 忠義 (妙見宗)

池田 榮輝 (真言宗中山寺派)

松井 義海 (北海道仏教連盟)

上田 頼石 (青森県仏教連盟)

高橋 雄仙 (岩手県仏教連盟)

板垣 隆寛 (山形県仏教連盟)

大越 孝仁 (茨城県仏教連盟)

塚田 賢照 (栃木県仏教連盟)

高木 敏了 ("

竹市 文成 (群馬県仏教連盟)

岩崎 風栄 (埼玉県佛教会)

江連 俊則 ("

土持 良栄 (千葉県仏教連盟)

岩崎 宗秀 (東京都仏教連盟)

▽神野 真一 ("

白川 謙敬 ("

○貝山 宣泰 (神奈川県仏教連盟)

横山 敏明 ("

○広川 芳雄 (新潟県仏教連盟)

(富山県仏教連盟)

(石川県仏教連盟)

大森 弘道 (福井県仏教連盟)
黒柳 祖道 (山梨県仏教連盟)
○橋 感月 (長野県仏教連盟)
○岩上 覚二 (岐阜県仏教連盟)
○遠山 弘文 (静岡県仏教連盟)
○宇佐美諦練 (愛知県仏教連盟)

瀨辺 淳信 (三重県仏教連盟)
花山 顕勝 (滋賀県仏教連盟)

○鶴飼 泉道 (京都府仏教連盟)

○高倉 正信 (大阪府仏教連盟)

○小西 日静 (兵庫県仏教連盟)

前田 孝道 (和歌山県仏教連盟)

生田 親陽 (鳥取県仏教連盟)

勝部 漸入 (島根県仏教連盟)
華山 恵光 (岡山県仏教連盟)
荒木 戒空 (徳島県仏教連盟)
石井 有龍 (香川県仏教連盟)
白石 大峯 (愛媛県仏教連盟)

島田 信了 (高知県仏教連盟)
○村上 賢亮 (福岡県仏教連盟)

○山本 杉 (沖縄県仏教連盟)

北川 教全 (全日本仏教婦人連盟)

○中山 富士 (日本仏教鑽仰会)

○正本 乗光 (全日本仏教青年会)

巖谷 勝雄 (国際仏教興隆協会)

関口 宏 (国柱会)

▽植松 威 (朝日生命仏教研究会)

壬生 照順 (東日本詠歌連盟)
友松 諦道 (近代仏教研究会)
(真理舎)
(日本山妙法寺)

秋山 秀濟 (日本仏教保育協会)
吉田 昭炳 (梵人会)
(京都仏教徒会議)

若麻績建龍 (善光寺)

竹村吉右衛門 (仏教振興財団)

村松 賢英 (東京ブレイストクラブ)

○沼田 恵範 (仏教伝道協会)

山崎 良順 (世界平和同願会)



挨拶する本多理事長

全仏の新年懇親会

約百人が参加して

理事会・評議員会終了後、同じ東京グランドホテルを会場に、全仏新年懇親会が開催された。

午後五時からの懇親会では、新しく会長に就任された金子日威現下の挨拶、新しい事務総局々長の紹介、また、来賓として出席した自民党の竹下登幹事長代行や加藤六月全国組織委員長などから祝辞が寄せられ、約百人の参加者の談笑が続いた。

また、本年度の全日本仏教徒会議開催が予定されている北海道からは、同仏教連盟会長の松井義海師が「ぜひ、一人でも多くの方が参加していただきたい」

との呼びかけを行った。

全仏輪袈裟

こげ茶、法輪マーク付き
¥一、五〇〇円

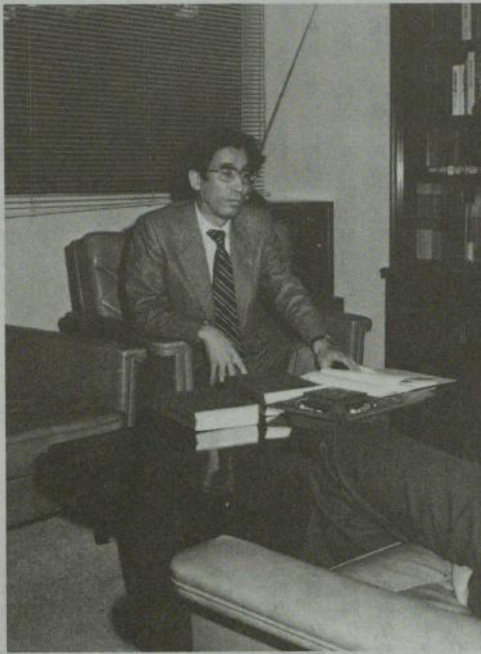
法輪バツチ

径1cm、ネジ式
¥一、〇〇〇円

日の丸・仏旗バツチ

¥五〇〇円

全日本仏教連盟事務局



相談を受ける担当の長谷川弁護士

全日本仏教会では、昨年十一月から、各寺院が抱える法律的諸問題について、気軽に相談できるよう、法律無料相談室を開設しています。

開設以来好評の 法律無料相談室

毎月第2・第4火曜日
お気軽にどうぞ

大変好評で、これまでに十数件の相談が持ちこまれております。なかには遠く青森県から質問を寄せる方もあり、担当の顧問弁護士・長谷川正浩先生も、毎回真剣に対応されています。

墓地、税金、不動産等、お寺に関する法律問題なら、どんな内容でもかまいません。ご相談事項は、秘密を厳守します。どうぞご安心下さい。また御寺院だけでなく、檀信徒の方のご相談もお受け致しています。

法律無料相談室
担当 全仏顧問弁護士
長谷川 正浩氏

場 所 全日本仏教会事務総局
港区芝公園四一七―四
〇三―四三三―七九二七五

日 時 毎週第二・第四火曜日
午後一時―四時

相談方法 面談・書面・電話
ただし、面談の場合は前もってご連絡下さい。

なお、全仏紙では、来月号から長谷川先生のご担当による「全仏法律相談室」のコーナーを設けます。これは、御寺院をめぐる法律問題のうち、特にどなたにも参考になるような質問に対し、誌上で長谷川先生からお答えいただくというものです。ご期待下さい。

中野市当局から回答

「寄付条例」問題で

既報（一月号）の通り、長野県中野市のS寺における「市寄付募集条例」の問題は、寄付募集と行政関与として、中野市仏教会と市との話し合いとなり、仏教会は寄付条例対策委員会を設置して市と会談を重ねた結果、市側より市長名をもつて次のように回答がありました。

昭和五十六年十二月二十五日
中野市仏教会会長 桜井康勇殿
中野市長 山田勝久

金銭物品等の寄付募集に関する

条例に対する伺書について（回答）
昭和五十六年七月九日付で提出されました。このことについて、今後、宗教学者が檀信徒を対象として行う寄付募集については、許可申請の対象から除外することにいたしました。

以上のように一段落しましたが、市側の最終処理は三月頃までかかる見込のことです。



永久 和ローソク 20号(20号型)・30号(30号型) 5号および10号(在家用)

薫香入り特殊油注入式

実用新案出願中
カタログ進呈

耐熱耐油性特殊材質で作られ、上記灯明油を注入する事により半永久的に使用出来ます

- 従来の和ローソクに比べ価格的に約半に節約出来ます
- 煤が殆んど出ない
- 芯切りは不要 芯は半永久的に使用可

上記商品以外にも大きさ、デザイン、色はご要望に応じます

お問合せ・お申込みは

製造・発売元 **叶 商事株式会社**

〒541 大阪市東区瓦町1丁目6
ヒガシビル418号
TEL (06) 222-3012(0)

投稿

アメリカの禅道場

天台宗自性院住職

古宇田 亮文

サンフランシスコ日本人街で、よく知られている日本食レストラン「紅花」に入ってみた。メニューの中には、今流行の「將軍」コースもあり、「紅花」チェーン店はどこも満員だという。

ロスアンゼルスだけで、日本料理店は五百軒はあるといわれるが、これらは時間がたつにつれ、だんだんアメリカナイズされるだろう。仏教寺院についても、白人だけで運営されている禅センターが、各地に出来つつある。

アメリカの禅センターを、半月ほど西海岸を中心に、レンタカーで廻った。西海岸だけで、大小百カ所の禅グループがあるといわれているが、その一部の代表的な禅センターは、私の目にかなり新鮮なものに映った。

禅だけでなく、アメリカ人家庭の生活背景には、わずかつつであるが東洋ブームの影響がみられた。特に日本を訪問したことのある人々の居間や応接間は、直接坐アトンを敷いたり、また新聞の折込み広告にも敷アトンの広告があつたりした。

そのブームの一環といえるかどうかかわからないが、各地に活気に満ちた禅センターが見られる。ロスアンゼルスでは二十五年前に渡米し、十年前から独立した

曹洞宗の前角老師のセンターは、住宅街の一ブロック(三エーカー)の敷地すべてに、禅センターとして機能している建物がありすばらしい躍進ぶりである。

会員八千人、新聞や雑誌等も発行しており、医療設備の機能もそろえテレビ、コンピュータまで駆使しての運営である。その施設を老師の案内で見学したが一軒一軒のドアを開けると、会員がチームワークよく生き生きと勤務につかえており、にこやかに老師が「ヤアどうだい、今の位進んでいる？」と気軽に声をかけると、うれしそうに受け答えしている様子は、ほほえましくも、うらやましい師弟関係だった。

その他、ロスアンゼルス市のシマロン禅センター本部(佐々木承周老師)などは、全米支部十ヶ所をもち、二千人の会員がいる。

サンフランシスコでは、故鈴木俊隆師の高弟リチャード・ペーカー老師が、市内に四階建ての堂々たるビルを持ち、その他二カ所に「叢林」を創設している。私共が渡米中に、ちょうど老師がサンフランシスコから車で三十分ほどのグリナレッジで、日曜法話をされるというので訪問した。

数万坪の山中に、立派な坐禅堂、食堂

独身・夫婦それぞれの寮があり、今は茶室を建築中だった。本堂で坐禅、英訳の心経を誦した後、居間でペーカー老師を囲んで禅についての応答があり、三人の質問者がいたが、少し個人的なむずかしい内容になると、「よくわからん。どうも私は道(仏道に入ったこと)を間違えたようだ」と答え、どつと会員を笑わせるなど、ウェットにとんだ好漢である。小生がおぼえたての英語で挨拶すると、日本語で逆に「英語が、おじょうずですね」と一本やられた。親日的な方でもある。

この広びろとした境内には、自営農場もあり、すべて自主的に運営され、まさにアメリカ禅の代表的なものといえる。ほかに禅堂を訪れたが、どこでも男女とも剃髪し、衣を身にまとい、熱心に坐禅をされている。精神的にドライといわれるアメリカ人が、お互いよき友人として、競って坐禅している姿は、禅堂が憩の場にもなっていることを、うかがわせる。

日本から直輸入した禅は、アメリカで花となり実を結んでいる。いずれ熱意ある若い求道者が、アメリカに禅の修行をしにいく夢をふくらませる時代を迎えるかもしれない。

全仏紙では、読者の皆様の投稿を歓迎します。どんな内容でもかまいませんので、文化部までお寄せ下さい。

宗教界には最もゆかりの深い菩提樹と蓮の花を育ててみませんか!!

成道ゆかりの樹……菩提樹(印度ブッタガヤ産直輸入品) 苗代¥10,000(鉢付)

極楽浄土の華……蓮(チャワンバス通称姫蓮) 苗代¥7,000(鉢付)

上記の品二点を同時予約注文の場合 特別価格¥15,000

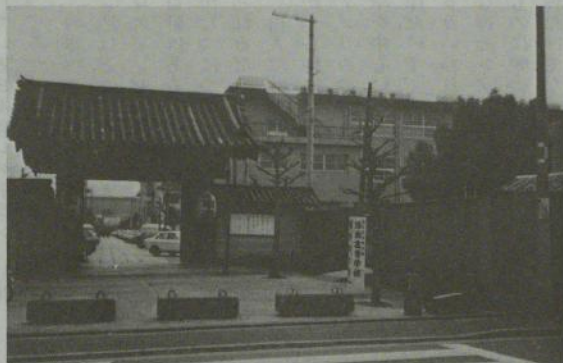
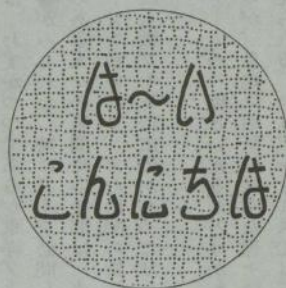
お申込、お問合せは下記のいずれかの所へ御一報下さい!

東京池袋 西武不動産(株)園芸営業所 ☎(03)989-2755
〒171 東京都豊島区南池袋1の16の15(西武鉄道ビル内)

名古屋 資梅金商店 ☎(052)241-0901(代)

(有)かたばみ商事
〒460 名古屋市中区大通三丁目39番33号





種智院大学（山門の右方）

昨年十一月に、創立百周年を迎えた種智院大学。各宗門大学でマンモス化が進み、その弊害が指摘される中で、

学生数百六十人という規模のこの大学は、かなりユニークな存在といえそう
だ。さっそくお訪ねしてみた。

京都駅の八条口から歩いて十五分、真言宗の名刹、教王護国寺（東寺）の参道の一角にこじんまりとした校舎をかまえている。すぐ隣りが、同じ学校法人真言宗京都学園の洛南高校だが、こちらの方が、敷地もずっと広い。

今は春休みで静かだが、まもなく新しい学生が入学してきて、賑わいを増す。ただこの大学はスタートから、一般の大学と少し異なるようだ。まず入学式は入学宣誓式といい、輪袈裟、念

種智院大学

珠を着用し、全員正座。般若心経に始まり、大師御宝号で終了。新入生には少しキツイいと評判である。

さらにすぐ、新生全員を飛行機で弘法大師生誕の地・香川県善通寺まで連れていってオリエンテーションを行う。ここで学生生活を過ごす上での指導があるわけだが、小人数故、学園関係者と学生がすぐ顔みしりになって、心の交流が開けるといふ。

この後、弘法大師降誕会（六月）、学園得度式などユニークな行事が続き、三月の卒業式は「ミニ大学の卒業式」と、当地のマスコミで話題となるので

ある。

「種智院」という名称は、もちろん、弘法大師が創られた庶民のための教育機関、「縁芸種智院」からとつたものだが、この大学の前身は、明治十四年創設の真言宗総覽にある。その後何回か名称変更があり、昭和二十四年に種智院大学となった。

古い伝統があるとはいへ、小さな大学では、経営がなかなか大変なのではないか。この点を、会計の都筑大乗さんは、「本学はもとから、真言宗各御本山の助成を受けてきました。幸い、国



学園得度式の執行

庫補助も充実してきましたので、その比率は、以前よりは低くなっています。

学費は物価スライド制をとっています
が、他の大学よりも安く、おさえたい
ます」と語ってくれた。

大学のパンフレットには「本学を経営・協賛する本山」として、次の真言宗各本山があげられている。仁和寺、宝山寺、朝護孫子寺、勧修寺、大覚寺、醍醐寺、中山寺、西大寺、教王護国寺、清澄寺、泉涌寺、善通寺、須磨寺、随心院。

また理事長には、東寺真言宗管長の鷲尾隆輝師が就任しているなど、大学役職者に、各宗関係者の顔がみえる。そうしたところからも、真言宗の各山が、この大学を物心両面からささえている姿勢がうかがえる。

種智院大学は、現在、仏教学部仏教学科の中に、仏教学、密教学、仏教福祉学の三コースがあり、百六十人の学生中、女子学生が二十数人いる。卒業生の進路状況をみると、僧職につくのは二割ほどで、一般企業や社会福祉関係、教育界などへ進む人も増えているといふ。また最近では、ラゲック調査団やインド密教遺跡調査団の派遣など、対外的な学術活動も盛んになってきた。

昨年十一月九日に開催された、百周年記念行事は、教職員・卒業生生物故者慰霊法要に引きつづいて、記念講演、祝賀会と、大変、盛会だったといふ。

今後、ユニークな仏教系ミニ大学として、発展してもらいたい。

カンボジア仏書 復刊救援運動

一般に協力呼びかけ

民キヤンプ等の文教施設に贈呈しようというものです。
最初に、日本の「広辞苑」に当たる、

全仏の前副会長・中村元博士らが中心となつて、カンボジア仏書復刊救援運動が進められています。これは相次ぐ戦乱によつて絶滅の危機にひんしているカンボジアの書物を復刊し、難

「クメール語大辞典」(一九六七年、ブノンベン市、仏教研究会刊行)二千冊の復刊が計画され、一口一万円(一冊分)の一般募金による施本運動が、昨年開始されました。協力者には国連から感謝状が贈られ、また一冊ずつ辞典の見返しに名前を刷り込んで、その人の印施による

仏英研スピーチコンテスト

— パーバラ・イエイトさんに全仏杯 —

仏教英語研究会(花山勝友会長)の、スピーチ・コンテストが、二月二十日午後一時半から、東京・六本木の国際文化会館で開かれた。

復刊であることが明記されます。皆様の善意を、ぜひカンボジアの方々に寄せ下さい。
〔問い合わせ〕〒一六二東京都新宿区戸山一四一、金花舎内、カンボジア仏書復刊救援会事務局、〇三二二〇三二二一一

この催しも今年で三回目を迎え、回を追うごとに内容も充実してきたが、今回は外国人を含む、十人の参加者が熱弁をふるった。
その中で今年「合気道と禅」について発表したパーバラ・イエイトさんが、見事に全仏杯を受賞し、藤原事務次長から、トロフィーを授与された。その他、入賞者に仏教伝道協会杯、仏英研杯など、多数の賞品が送られた。

第六回 教化担当者会議

「情報化時代の教化」テーマに

第六回教化担当者会議は、左記の通り開催されることがまりました。

テーマ 「情報化時代の教化伝道」
日時 昭和五十七年三月二十六日
(金)、午前十時から

会場 東京ランドホテル

これまでこの会議では「現代人の不安と仏教」、「仏教以外の他宗教の伝道方法について」、「仏教の新しい伝道について」等をテーマに、多大な成果を

あげてきました。

今回は、「情報化時代の教化伝道」というテーマのもと、コンピュータなど新しい情報機器導入で、これからの教化伝道はどう変化するのか、まず、埼玉工大副学長・武藤義一先生の基調講演、つづいて実際に様々な情報機器を活用している宗派・団体からの実例報告、さらにその後、討議・情報交換なども予定しています。

WFBY会長来訪

さる二月十九日、WFBY(世界仏教青年連盟)の一行が、全仏事務局を来訪訪問した。

一行は、WFBY会長アンヨン・ホンバンジ夫妻、同事務局長バンボット・ピラサイ氏、マレーシア仏教青年会副会長アン・チョーホン氏とホー・チンシン氏ならびに同会計担当のオー・ライキンさんの六人で、全仏では豊田総務局長が出迎え、懇談した。

上信堂上川金太郎商店

- 墓地用線香製造販売
- 各種墓地用品販売
- 各種薫香販売

本店 東京都豊島区巢鴨4-8-7
TEL (03) 917-1734
東北出張所 山形市山寺(堀川商店内)
TEL (0236) 95-2742

ルンビニー委員会 開く

勧募目標額などきままる

第五回ルンビニー復興日本仏教徒委員会は、一月十八日午後二時から、明照会館会議室で開かれた。

この日は、勧募目標額及び勧募期間について審議され、まず勧募期間は三カ年と決定。つづいて目標額として、宗派協力金が六千万円、都道府県仏協力金が二億二千五百万円、財界・各種団体・個人等の協力が九千万円、合計三億七千五百万円を勧募すべきだろ、うということになった。

一方、支出内容については、僧院建設費、事務局費等について、事務局でもう少し詳細に検討することになった。つづいて第六回ルンビニー復興日本仏教徒委員会は、一月二十六日午後二時から、明照会館会議室で開かれた。

委員会では、二月九日の理事・評議員会に提出する、予算案等の最終協議を行った。そして理事会での承認後、具体的に必要事項は、さらに充分検討していくことになった。

第五、第六回同和委員会ひらかれる

第五回同和委員会は、一月二十日午前十一時から、京都・西本願寺門徒会館で

開かれた。

前日、大阪の部落解放センターで行われた、曹洞宗・全仏への第三回糾弾会が主な議題となり、まず、指摘を受けたA C R P会議へ全仏が参加しなかった理由及びW C R Pと全仏とのこれまでの関係等について討議が進められた。そして両者の関係に不明瞭な点があるとして、後

自民党と懇親会開く

去る二月八日、東京の赤坂プリンスホテルを会場に、全仏加盟の各宗派代表者と、自民党関係者との懇談会が開催された。

午後六時からの会合では、自民党文教局長の船田元代議員が進行役となり、まず自民党を代表して二階堂幹事長が、仏教界側からは曹洞宗の田中宗務総長が挨拶を行った。

つづいて加藤六月全国組織委員長長の挨拶、出席者の紹介が行われた後、昭和五十七年度文教関係予算案について、石橋一弥文教局長から報告があり、乾杯となった。その後食事を取りながら、全仏の活動状況について各部長から説明、並びに当面する要望事項などが述べられ、懇

日、委員長・副委員長とこの問題を検討することになった。

次に、糾弾を受けている宗派以外にも、差別戒名等問題ある宗派について、全仏の対応が遅れているとの意見が出され、ただちに各宗へアンケートを出して、その実態をつかむことになった。

また第六回同和委員会は、二月十五日午後一時から、全仏会議室で開かれた。議題に入る前に、前回の委員会討議されたW C R Pと全仏との関係について委員長から報告された。アンケートの問題は、事務局から回収状況が説明され、回収後の方針等について協議された。

談が続いた。

宗教法人管理者研究協議会開かれる

去る一月十九日午前十時から、東京の国立教育会館を会場に、文化庁・日宗連主催による「昭和五十六年度・包括宗教法人等管理者研究協議会」が開かれた。

今回の協議会には、全仏関係者も多数参加したが、研究協議①では、日蓮宗総合企画部企画調整課長の高桑正温師が、「日蓮宗における監査制度について」というテーマで発題を行った。

また、研究協議②「宗教法人の運営と規則について」では、全仏の磯山福正庶

各宗代表者が出席して

各専門委員会ひらく

務部長が、司会を担当した。

文化専門委員会 一月二十六日午後四時から、全仏会議室で開かれた。

主な協議事項は、「仏教文化財の保護について」と「第六回各宗派教化担当者会議について」の二点だったが、この他にも、全仏紙や花まつりポスターなど、文化部所管の諸々の問題について、幅広い意見が出され、熱心な協議が続けられた。

国際専門委員会 一月二十八日午後四時から、全仏会議室で開かれた。

この日の議題は、本年度の国際部事務報告及び、今後の方針についての検討と

寺院用具
浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)
電話 代表 (841) 4965

題となっている、ルンビニー復興問題に議論が進出した。また新規の委員推選については、事務局一任ということが了承された。

組織専門委員会 二月四日午後三時から、全仏会議室で開かれた。

「アジア人種及び少数者問題における宗教の役割協議会」というのがアジアのキリスト者主催で、二月二十二日より二十六日まで、京都相国寺の瑞春院を会場として持たれた。

同宗連を通じて友好を得た、プロテスタントの小野一郎牧師のおはからいによって、西本願寺、大本教、大谷派からも列席の機会が与えられたのである。

同和推進のために

同和委員会委員長 橘 了法

アジアの諸国、スリランカ、フィリピン、マレーシア、タイ、タイワン、韓国、日本の代表二十数名が、各々少数者の問題についての実状報告と展望が語られた。

この開催のため昨秋、スリランカで準備打合せの会合が持たれたうえのことであった。

考える仲間同志ということによるのであろうか、或はさらにこのことについて、何かの御催しに促がされたこととの共感によるのであろうか。

わたくしは日本の仏教徒であるが、もはや今日において宗教者或はその教団というものが、マイノリティの問題にとりくむことなしにはあり得ない、という連帯組織結成のなかで小野先生との交わりを得て、この会合のご縁を

委員会では、六月二十四日、北海道札幌市で開催される、第二十九回全日本仏教徒会議について検討されたが、委員の任期が切れるため、具体的な決定にはい

たらず、四月からの新しい委員のもと、大会準備会を設置して、諸々の問題を協議決定していくことになった。

難民救援寄金

埼玉県佛教会 九、五一六円

特にわたくしは仏教徒のなかで「少数者こそ、より真実に直結し得る可能性だ」とする親鸞の宗派に属するものであるが、その宗派に属するマジオリ

タイの代表ひとりには仏教徒であるというので、一夜宿を共にしたが、彼は相当な仏教者であり、鈴木大拙はもとより、国際仏教学者との交流もある由

多党派の銃剣のなかで使役させられるというので、その厄を避けるため、私はアジア連帯の一員であるとゼッケンをつけたらどうかと話したら、かえって内通する国際スパイでやられるとのこと。

いま現に仏教圏でこんなことのあることを、キリスト者のこの会議で知らされたのである。

- 赤沼 義俊師(全仏評議員) 十二月十一日、七十八歳で遷化。天台宗・寛永寺執事長。
- 板橋 宥成師(全仏評議員) 十二月十四日、七十一歳で遷化。真言宗智山派宗機顧問。
- 高鼻 寛我師 十二月十七日、急性心不全のため総本山知恩院で遷化、九十三歳。浄土門主。元仏教大学長、浄土宗勸学、文学博士、昭和五十五年から、浄土門主・知恩院門跡をつとめていた。
- 神田 寛雄師(全仏元理事長) 十二月十七日、八十四歳で遷化。浄土真宗本願寺派の宗会議員を長年つとめ、昭和四十九、五十、五十二年に総長就任。
- 増永 靈鳳師 十二月二十九日、七十九歳で遷化。駒沢大名誉教授、元駒沢大学学監。
- 岩本 光徹師 一月八日、九十八歳で遷化。本山修験宗管長、総本山聖護院門跡。
- 横山 定雄師 一月二十三日、八十一歳で遷化。真言宗大覚寺派管長、大本山大覚寺門跡。
- 望月 日滋師(全仏元副会長) 二月一日、八十歳で遷化。日蓮宗総本山身延山久遠寺法主。これまでに宗務総長、管長、立正大学学監などを歴任。

哀悼

＝局内人事＝

全日本仏教会事務総局では、任期満了に伴う役員人事を行い、次の通り決定した。

事務総長 小野島元雄(本派)新
事務次長 藤原 知徳(曹洞)新
総務局長 豊田 英世(日蓮)留
組織局長 那須 公順(大派)新
国際文化局長 北山 宏明(浄土)新
なお、日野照護事務総長、勝部定昭組織局長、安本利正国際文化局長は退任された。

事務総局録事(一月・二月)

一月
六日 埼玉県佛新年会出席
十一日 局内会議
十二日 法律相談室
十八日 ルンビニー委員会
十九日 文化庁宗教法人研究協議会

＝表紙の写真＝
善通寺大会陽

会陽とは「フクバイ」ともい、これは「福奪い」のことで、一年の福を奪い合う行事という意味である。会陽の会は「めぐり合う」の意をあらわし、陽は陽春、つまり春をあらわしている。会陽とは、きびしい冬を乗り越え、春にめぐり合うことだろう。

昭和五十七年 三月一日発行
三月号 第二七六号

二十日 同和委員会

浄土門主本葬参列

二十一日 局内会議

二十六日 文化専門委員会

ルンビニー委員会

全日仏婦修正会

法律相談室

二十八日 国際専門委員会

二月

一日 局内会議

四日 組織専門委員会

八日 自民党各宗代表者懇談会

九日 理事会、評議員会

新年懇親会

法律相談室

十五日 同和委員会

十七日 局内会議

十八日 北海道仏教会連盟理事会出席

十九日 WFBY会長来訪

二十三日 法律相談室

二十四日 四国ブロック会議

二十六日 ルンビニー委員会

この行事のモデルは、古く、藤原鎌足が奈良の興福寺で営んだ、維摩会にあるともいわれている。
フクバイの夜には、五重大塔から、雄雌二本の宝木(シンギ)が投下され、これを裸の男たちが奪い合うところから、はだか祭りとして名高い。

善通寺では、弘法大師の秘法による除災招福を祈る法要として、毎年陰暦一月二十、二十一日の両日、盛大に行われる。

発行人 小野島 元雄
編集人 北山 宏明

発行所 財団法人 全日本仏教会

東京都港区芝公園四一七―四
電話〇三(四三七)九二七五

墓地の草取りはおまかせください

ネコソギ粒剤 3ケースお買上げの方に散粒機進呈!!

チャンス・チャンスセール

いま散布すれば約6カ月間雑草の発生をおさえます。

いまがネコソギ粒剤を買うチャンス!!

ネコソギ粒剤は安全で、水にとかす必要もなく、散布するだけの除草剤です。いま3ケースお買上げの方に広い墓地も楽々散布ができる散粒機を進呈中!! ぜひこの機会にお買求めください。

いまがネコソギ粒剤を撒くチャンス!!

ネコソギ粒剤は雑草の生える前から草丈20cmまでの時に散布すると最も効果があり、その上約6カ月間雑草の発生をおさえますので、その間は雑草なし!! ぜひこの機会に墓地の除草をしてください。



散粒機で散布中

根までも枯らす強力除草剤

ネコソギ 粒剤

(特長) ●安全
●水なし
●長く効く

3kg 100坪用
1ケース(3kg入×6袋)
36,000円を28,800円



ゼニゴケ退治に (新発売)

コケレス

●速効 ●安全 ●無害
25g×6包 3坪用
1箱(25g入×6包)
980円を780円



製造発売元



仏に仕える心の虹橋
レインボー薬品株式会社

東京都中央区日本橋本町2-5 〒103
☎03(241)4011 郵便振替 東京5-59298